



ビンゴ運営システム「BINGO LINK」資料

紙のビンゴカードの課題とバーチャルビンゴカードの課題を全て解決

よくある困りごと＆解決

1

ビンゴ判定が大変（ビンゴ判定スタッフが困る）

課題 ビンゴになった参加者が出る度に、そのビンゴ確認の為にビンゴの進行が中断するので、判定するスタッフは焦るが出た数が何十個もあり判定が困難。間違ってもいけない為、スタッフはビンゴ判定の役を引き受けたがらない

解決 スタッフのスマホで瞬時に正確にビンゴ判定

2

会場の前方に人が集中して混乱（みんな困る）

課題 参加者は必死で出た数字と手元のビンゴカードを見比べるため、周りへの配慮ができずに会場の前方に人が集中し混乱が発生。楽しいはずのビンゴゲームなのにトラブルが発生することも

解決 参加者のスマホに抽選番号を配信、参加者が会場の前方に集中しない

3

抽選番号の貼り出しスタッフが困る

課題 見えやすい貼り出し位置と、都度貼り出せる高さの両立が大変。さらに最大75個の数字が並ぶため、参加者から見やすい数字の大きさを確保するのも簡単ではありません

解決 複数画面出力に加え、参加者のスマホで番号履歴を確認できるため、掲示場所の確保や設置の悩みがゼロになります。

4

司会者が困る

課題 出た数を伝えるために、何度も出た数字を大声で繰り返さないといけない。抽選をする人＝司会者でないことも多く、息が合わずに進行の連携が乱れたり、ビンゴ判定スタッフが遅いために抽選を進めにくい状況も。

解決 司会者リモコン機能により、司会者の手元のスマホでワンタップで抽選。抽選時には効果音が出て自然に参加者が注目してくれるので、テンポ良くイベントを進められます

5

紙カードがないと参加者が困る

課題 町内会などでは一番ビンゴゲームを楽しみにしている子供がスマホを持っていない（家でしか使えない）事も多く、紙カードのないバーチャルビンゴカードだけのビンゴイベントでは開催できない

解決 スマホを持たない子供や高齢者も、従来通り紙カードで参加できます

6

紙カードがないと景品交換スタッフが困る

課題 紙カードなしのバーチャルビンゴカードのビンゴイベントでは景品交換時に確認記録が残らず、後から問い合わせやトラブル対応が難しくなることがあります

解決 従来通り、紙カードを景品交換券として使える

7

インストールするアプリだと、みんな困る

課題 参加者もスタッフも、一時的なイベントのために、わざわざアプリをインストールすることに抵抗がある

解決 インストール不要で、すぐ使える

8

不正カードの持ち込み（すり替え）に困る

課題 高価な景品があるイベントでは、市販のビンゴカードを外から持ち込まれ、景品交換に使われてしまう不正リスクがあります。

解決 BINGO LINKのカードは左上にスタンプ用の余白があるため、イベント名スタンプ等をあらかじめ押しておくことで、「その会場だけの唯一のカード」にできます。

実際のビンゴイベント運営経験から、現場で起こりやすい困りごとを一つずつ解決して完成したのが BINGO LINK です。